

ドイツ語 (初級 A) 第 8 回 前置詞 (前半)

範囲: 教科書 S. 22-24 (CD トラック 26-29)

《今回の基本例文》

20. Er kommt mit seinem Freund aus dem Haus. (CD26-1)

彼は友人と家から出てくる。

[3 格支配の前置詞]

21. Für seine Freundin tut er alles. (CD27-3)

ガールフレンドのためなら、彼は何でもする。

[4 格支配の前置詞、(定冠詞類 aller)]

22. Der Schüler legt das Heft auf den Tisch. (CD29-4)

その生徒はノートを机のうえに置く。

[3・4 格支配の前置詞の 4 格用法]

23. Jetzt liegt das Heft auf dem Tisch. (CD29-4)

いま、そのノートは机のうえにある。

[3・4 格支配の前置詞の 3 格用法]

教科書第 5 課 A. 前置詞 (S. 22)

〈ドイツ語の前置詞について〉 (補足)

◇ ドイツ語の前置詞が英語と異なるのは、そのあとにくる名詞や代名詞が特定の格でなければならないことである。ある前置詞の次に来る名詞や代名詞が **n 格** でなければならないとき、**n 格支配の前置詞** と呼ぶ。

* これまで、すでに **in** や **aus** や **nach** が登場している (教科書 S. 8-9、S. 15 など)。これらも実は格支配があった (**aus** と **nach** は 3 格支配、**in** は 3・4 格支配の 3 格と結ぶ用法、それぞれここで学ぶ) のだが、冠詞のない固有名詞のためそれが明示されていなかっただけである。

- ◇ 前置詞には、**2 格支配**、**3 格支配**、**4 格支配**、**3・4 格支配** の 4 種類がある。
- ◇ 3・4 格支配の前置詞は、3 格をとるときと 4 格をとるときでは意味が異なる。
- ◇ 前置詞の意味は複雑で、教科書に書いてある日本語とも英語の前置詞とも必ずしも一致しないが、現時点ではこの通りに理解していればよい。

教科書 1 3 格支配の前置詞

◇ **aus** は *out of* と考えてよいが *from* と重複し、「～のなか (内部) から」。例えば、「～出身」という場合には **aus** を使う (英語では *from*)。

- ◇ **bei** は、
 - ・「～の近く」という *beside* の意味
 - ・「～のところに」という空間的場所
 - ・「～の際」という時点
- ◇ **mit** (～とともに、～でもって) は *with* と考えてよい。
- ◇ **nach** は、
 - ・「～へ」という移動の目的地 (⇒本配付資料 S. 4)
 - ・「～のあとで」という *after* の意味
 - ・「～によれば」という典拠
- ◇ **seit** は *since* と考えてよい。ただし、**Übung 1** の小問 4 の注にある通り、ドイツ語の時制では「継続」は現在形で表す (もちろん英語では現在完了形) ので、英語の前置詞 *since* とは異なって、**seit** は完了形とともに用いるとは限らない。
- ◇ **von** は、
 - ・「～から」という *from* の意味 (*aus* と異なって「内部から」の含意はない)
 - ・「～の」という所有 (*of*) の意味
 - * もちろん、「～の」の意味は 2 格でも示すことができる。
 - ・「～について」という *about* の意味
- ◇ **zu** (～へ) は *to* と考えてよい。 (⇒本配付資料 S. 4)
- ◇ ほか、**außer** (～のほかに、*except*)、**gegenüber** (～の向かいに、*across*)、**entgegen** (～に向かって、*against*) などがある。
- ◇ **entgegen**、**gegenüber**、および「～によれば」の意味の **nach** は後置するのが普通なので「後置詞」といえるが、便宜的に前置詞の一つとして扱う。

(例) *meiner Meinung nach* 私の考えでは (よく使う熟語)

教科書² 4 格支配の前置詞 (S. 23)

- ◇ **durch** (～を通して) は *through* と考えてよい。
- ◇ **für** (～のために) は *for* と考えてよい。
- ◇ **gegen** (～に逆らって) は *against* と考えてよい。「～ごろ」の意味については教科書第 9 課の時刻の項目で扱う。
- ◇ **ohne** (～なしに) は *without* と考えてよい。
- ◇ **um** (～のまわりに) は *around* と考えてよい。
- ◇ **entlang** (～に沿って) は *along* と考えてよい。**entgegen** や **gegenüber** 同様に後置。

教科書³ 3・4 格支配の前置詞

- ◇ 3・4 格支配の前置詞は、動作が行われる位置を表す場合は 3 格を、動作の方向や目的地を表す場合は 4 格とともに用いる。

- ◇ ほぼ、
- **an** (～に接して) は *at*
 - **auf** (～のうえ) は *on*
 - **hinter** (～のうしろ) は *behind*
 - **in** (～のなか) は *in*
 - **neben** (～の隣に) は *next to*
 - **über** (～の上方、～を越えて) は *over, above, beyond*
 - **unter** (～の下) は *under*
 - **vor** (～の前) は *before, in front of*
 - **zwischen** (～のあいだ) は *between*

と考えるとよい。いずれも 4 格とともに用いれば動作の方向や目的地を表す。

(例) Das Auto steht vor dem Hotel.

その自動車はホテルの前に停まっている。(位置=3 格)

Er fährt vor das Hotel.

彼はホテルの前に (自動車で) 乗りつける。(方向=4 格)

- ◇ über には「～について」という意味もあり (*von* と並んで英語の *about* に相当)、非常によく用いられる。その場合は必ず 4 格とともに用いる。

教科書 Übung 3

5. *sitzen* は「座っている」という静止状態だけを表す (英語の *sit* と異なる点)。「座る」という動作を表すためには *sich setzen* という再帰動詞がある (教科書 S. 53 で扱う)。*setzen* 自体は「～を座らせる、～を置く」という他動詞 (この課の Übung4 の 3 を参照)。
6. *kreisen* (*vi.* 旋回する) は、確かに移動を表す動詞ではあるが、*über* _____ (*die Stadt*) はその移動の目的地ではないことを考えて解答するとよい。

教科書 Übung 4

2. *hängen* には自動詞 (立てかけられている、ぶら下がっている) と他動詞 (～を立てかける、～を吊り下げる) の 2 つの用法がある。英語の *hang* と同じ。

〈3 格支配、4 格支配、3・4 格支配の前置詞についての補足〉 (補足)

- ◇ 前置詞と定冠詞の融合形のうち、よく用いられるものを整理すると以下の通り。

- 3 格支配 : *bei*+*dem* → **beim**, *von*+*dem* → **vom**, *zu*+*dem* → **zum**, *zu*+*der* → **zur**
- 4 格支配 : *durch*+*das* → **durchs**
 - * 教科書にある *fürs*, *ums* は定型表現を除いて用いられないことも多い。
- 3・4 格支配の 3 格 : *an*+*dem* → **am**, *in*+*dem* → **im**
- 3・4 格支配の 4 格 : *an*+*das* → **ans**, *in*+*das* → **ins**

* 教科書にある **aufs** は用いられないことも多い。

以上については、これらの融合形を用いるのが普通である。ただし、名詞を強調したい場合には敢えて融合形を用いず、**zu dem[de:m] Bahnhof** のように定冠詞部分を強く発音することもある。

◇ 移動の目的地を示す前置詞の使い分けは、

- 目的地が地名（固有名詞）かつ無冠詞の場合：**nach+3 格**または**in+4 格**

（例）**nach Deutschland, in Deutschland, nach Berlin, in Berlin**

- 目的地が冠詞のつく地名（特定の国名など）の場合：**in+4 格**

（⇒授業第 4 回配付資料 2 「名詞の性別の見分け方」）

（例）**in die Schweiz, in die USA / Vereinigten Staaten, in den Iran**

- 目的地が人間、用事の場合：**zu+3 格**

（例）**zu Hans, zum Arzt, zur Ausstellung, zur Schule**

- 目的地がなかに入れる建物の場合：**zu+3 格**または**in+4 格**

（例）**ins Büro, ins Restaurant, ins Kino**

Er geht in die Bibliothek.

Er geht zur Bibliothek.

彼は図書館に行く。

- 目的地が開かれた施設の場合：**auf+4 格**

（例）**auf das Rathaus, auf die Post, auf den Marktplatz**

* **Rathaus**（市役所／町村役場）や **Post**（郵便局）は建物だが、「公共」施設と考える。ただし、これらを用事と考えて **zum Rathaus** や **zur Post** とするの也可。

** 教科書 S.22 には、「催し」には **zu+3 格** を用いる、とあるが、**auf+4 格** も多い。Vgl. **auf die Party, auf das Fest, auf den Ball**

- 目的地が海、川、湖の場合：**an+4 格**

（例）**ans Meer, an den Rhein, an den Strand**

* 通常は「海／川／湖に行く」は水中に入ることではなく、「海辺／川辺／湖畔に行く」意味なので。

- なお、上記 **in**、**auf**、**an** については、移動をとまなわない場合は 3 格をとる。

（例）**im Büro, auf dem Rathaus, am Meer**

連絡先など

教員のメールアドレス：tokan@nifty.com 教員のウェブサイト：<http://hasegawa.la.coocan.jp/>

授業のウェブサイト（進捗表示、配付資料あり）：<http://hasegawa.la.coocan.jp/lecture/>